

## 要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2,6-ジ-sec-ブチルフェノールのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験

試験番号 No. 2004-生76

### 試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日)に準拠して実施した。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1)被験物質       | : 2,6-ジ-sec-ブチルフェノール  |
| 2)暴露方式       | : 半止水式 (24時間毎に試験溶液の全量を交換)   |
| 3)供試生物       | : ヒメダカ( <i>Oryzias latipes</i> )  |
| 4)暴露期間       | : 96時間  |
| 5)試験濃度 (設定値) | : 対照区, 0.010, 0.022, 0.046, 0.10, 0.22, 0.32, 0.46, 1.0 mg/L<br>公比; 2.2(ただし、0.22 ~ 0.46 mg/Lは公比 1.3の変則公比) |
| 6)試験溶体量      | : 3 L/容器  |
| 7)連数         | : 1 容器/試験区  |
| 8)供試生物数      | : 10 尾/試験区  |
| 9)試験温度       | : 24±1 °C   |
| 10)照明        | : 室内光、16 時間明/8 時間暗  |
| 11)給餌        | : 無給餌   |
| 12)通気        | : なし  |
| 13) pH       | : 試験溶液の pH調整は行わない   |
| 14)分析法       | : HPLC 法  |

## 結 果

### 1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質の濃度は、一部に分析誤差も考えられるものの、揮散による影響が変動の主因と判断し、各測定値の時間加重平均値(暴露開始時と 24 時間換水前および 48 時間換水後と 72 時間換水前の対数平均を算出し、それらの算術平均値)を採用した。

### 2) 50 %死亡濃度

24 時間 50 %死亡濃度( $LC_{50}$ ): 0.241 mg/L (95%信頼限界: 0.149 ~ 0.287 mg/L), Logit

48 時間 50 %死亡濃度( $LC_{50}$ ): 0.241 mg/L (95%信頼限界: 0.149 ~ 0.287 mg/L), Logit

72 時間 50 %死亡濃度( $LC_{50}$ ): 0.223 mg/L (95%信頼限界: 0.181 ~ 0.282 mg/L), Logit

96 時間 50 %死亡濃度( $LC_{50}$ ): 0.154 mg/L (95%信頼限界: 0.129 ~ 0.190 mg/L), Logit